



3-18 富士山の雲① 富士山にはレンズ雲が多い

富士山のまわりにはレンズ雲が多くできます。富士山によって風が乱れるためです。山頂にかかるレンズ雲は笠雲、すぐ横で不思議な形になるのはつるし雲といいます。いずれも湿った風が影響しています。

やや高い空に、湿った強い風が入るのは、台風や発達した低気圧接近のときが多く、レンズ雲が見られたら、強風や強い雨などの悪天候が心配されます。高い山ではすぐに下山したほうがいいです。

この写真は山頂から見たつるし雲で、下山後に雨が降りました。

レア度 撮影◎山梨県 9月5時



片方に伸びたレンズ雲がありました。この形で、左から風が当たっていることがわかります。変わった形の雲は、変化が早いのです。

レア度 撮影◎山梨県 7月17時



富士山に強い湿った風がぶつかって、風下側にできたつるし雲で、レンズ雲の一種です。つるし雲は翼の形が多く、丸い形になることもあります。

レア度 撮影◎山梨県 5月16時

富士山のすぐ近くにできたレンズ雲です。吹き下りる風のためか、やや斜めになっています。山にいてこの雲を見たら注意しましょう。

レア度

撮影◎山梨県 6月18時

●雲との出会い方 富士山に湿った風がぶつかると、レンズ雲がよくできます。天気の変化も早く、雲の形がどんどん変わります。昼も夜も関係なく出て、夜は月明かりで見えます。





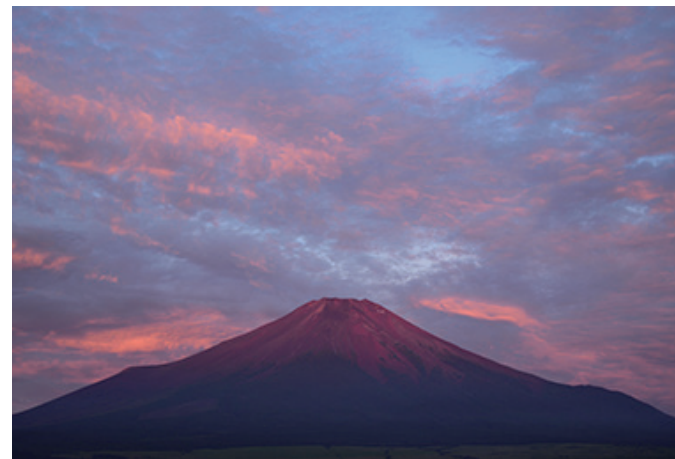
3-19 富士山の雲② 日本一の山と雲の美しい組み合わせ

標高3776mの独立峰である富士山には、さまざまな風がぶつかって不思議な雲ができます。四季それぞれに特有の雲もあり、昼も夜も楽しめます。

最も有名な雲は「笠雲」でしょう。富士山の上に笠のような形の雲が乗っている姿は有名です。大きな笠や二重の笠、山頂から離れた笠など、いろいろな種類があります。また、富士山からやや離れたところにぽっかり浮かぶ「つるし雲」は、同じ位置に漂ったまま、さまざまな形に変化します。翼のような形が多く、巨大なUFOのような形もあります。

昼は日射によって斜面からどんどん雲がわき、朝夕は刻々と雲の色が変わります。夜も月明かりによって雲が見え、月夜の笠雲は幻想的です。

レア度 撮影◎山梨県 3月7時



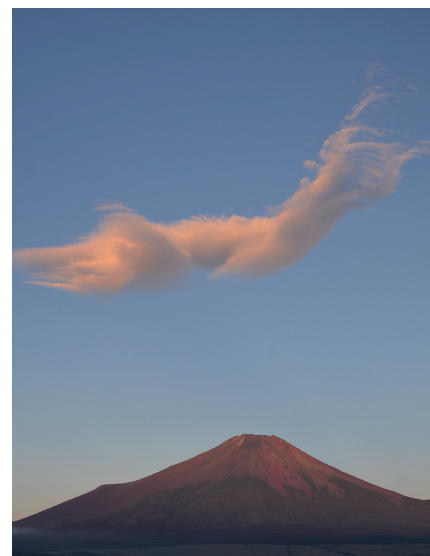
山頂から朝日が当たって赤富士になり、その上の雲は朝焼けで色づきました。この光景が見られるのは、わずか数分間だけです。

レア度 撮影◎山梨県 8月5時



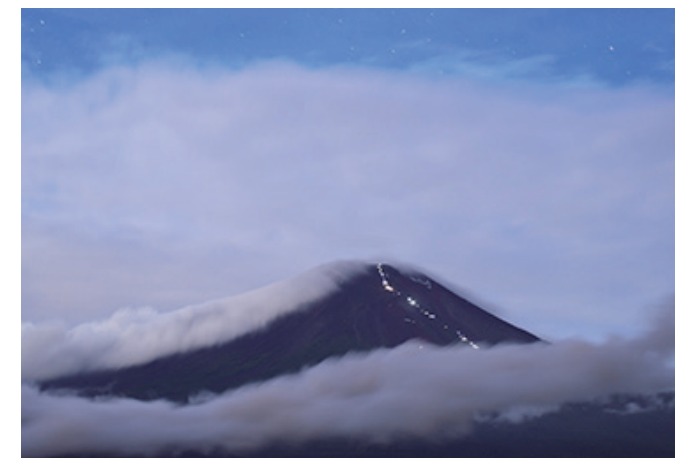
富士山に夕日が沈むとき、山頂付近に雲があり、雲の縁が輝いて幻想的でした。同じ光景は二度と見られないと思いながら眺めました。

レア度 撮影◎静岡県 6月18時



富士山のすぐ近くに浮かぶ「つるし雲」は、富士山にぶつかった風によってできます。刻々と形を変えていくのがおもしろくて飽きません。

レア度 撮影◎山梨県 8月5時



月明かりのある夜明け、富士山の下にも上にも、そして山肌にも雲があります。山小屋や登山者の灯りが連なっています。

レア度 撮影◎山梨県 7月4時



3-20 富士山の雲③ 想像を超えた不思議な雲も

富士山の雲は日本一、もしかしたら世界一おもしろいと思います。季節ごとにさまざまな風がぶつかり、笠雲やつるし雲以外にも、いろいろな雲があります。

富士山はふもとから見るのがいいといわれます。ふもとから見た富士山と雲がおもしろいのです。葛飾北斎の富士山の絵にもうろこ雲などがあります。

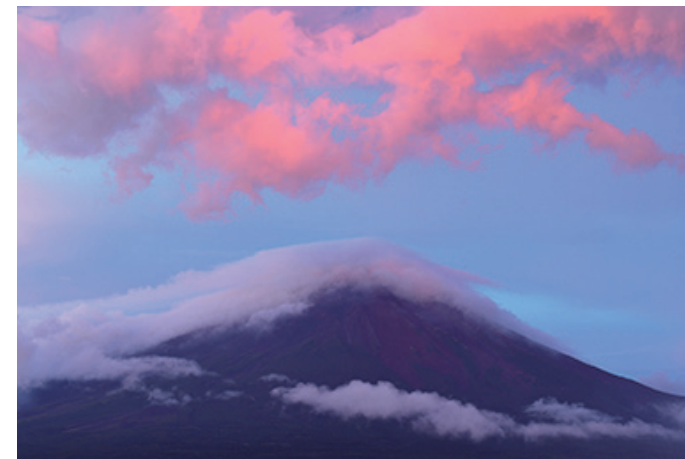
富士山の雲は風がつります。低気圧や台風、そして前線が近いときには、ふだん見ないような変わった雲が出ます。この写真も、ちょうど寒冷前線が通過するときにできたものです。手前(上)にあるのは、つるし雲といい、あまり動かずに形を変えます。

レア度 撮影◎11月7時



夕刻に富士山の上に、富士山と同じくらい大きな雲ができました。逆光なのでとても不気味です。まわりから風がぶつかってできた雲です。

レア度 撮影◎12月17時



笠雲の上のできた朝焼け雲です。夏は朝の時間が早いので、この雲を見ている人は少ないでしょう。山に登る人は雲に入ります。

レア度 撮影◎8月5時



笠雲にもいろいろな形があります。これは多重笠雲です。山頂から離れて浮かぶものもあります。

レア度 撮影◎4月14時



月明かりの雲も見ていて飽きません。屋間よりも動きが穏やかな感じで、UFOのような笠雲ができました。

レア度 撮影◎12月6時

◎雲との出会い方 92ページから見てきたように、富士山には一年中、不思議でおもしろい雲が出ます。天気が悪くなる前に、大きな笠雲やつるし雲ができやすくなります。台風が近づくときもいろいろな雲が出ます。



3-21 富士山からの雲 雲を間近に見る最高の展望地

富士山の雲は下から見ても、登って上から見ても素晴らしいものです。五合目付近で森林がなくなるので、それより上はどこでも空が見られます。ただし、山頂付近には笠雲ができやすく、日中は雲がわきやすいので注意しましょう。

最も雲がきれいなのは朝です。遠くの地平線から真っ赤な太陽が昇り、雲が立体的に色づきます。高い位置にいるので、雲が低く感じられ、早く変化します。

その後は、真っ白な雲海が広がりました。雲海の様子は毎日違い、いろいろな雲海があります。太陽の光が当たると雲海は動き出して、消えていきます。

また、夜は月明かりで雲が見えます。写真を撮ると昼間のように写ります。

レア度 (低) (中) (高) 撮影◎富士山 8月5時



目の前で雲の湧く様子が見られるのも、富士山ならではの姿です。こうして湧き上がる雲のほとんどがすぐに消えてしまいます。

レア度 (低) (中) (高) 撮影◎富士山 5月5時



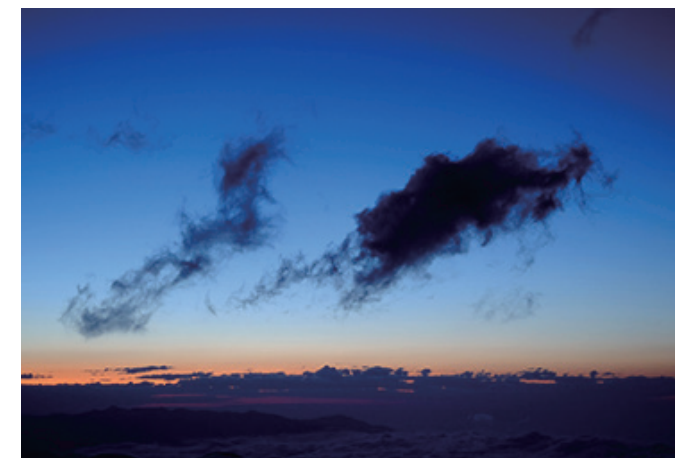
朝日の手前に雲がやってきました。雲は薄いので太陽の光で輝きました。写真では止まって見えますが、刻々と変化しています。

レア度 (低) (中) (高) 撮影◎富士山 5月5時



東のほうには関東平野があり、東京や神奈川方面の街灯りで雲がわかります。澄んだ空にはきれいな星空が広がり、そこを雲が流れていきました。

レア度 (低) (中) (高) 撮影◎富士山 9月1時



薄明の空に浮かぶ雲は黒く見えます。雲自体には色はないのですが、背後の光を遮るので黒っぽくなります。太陽の光が当たると、橙色や白色になっていきます。

レア度 (低) (中) (高) 撮影◎富士山 5月4時

◎雲との出会い方 富士山は、五合目でも2000~2400m程度の標高があり、雲を楽しむのに十分な高さです。夏は山頂まで登れますが、七合目でも十分高いです。無理な登山よりも空を楽しみましょう。空を楽しむなら朝がいいです。